

こころの壁を

このまちで、ともに歩む。



たって、

でも、

私たちは同じ人と人。お国籍や言葉、文化が違っ

さらに大きくなるかもしれません。から、出身の国が違えば、その差は

て価値観が違うことがあるのです

もあります。

同じ日本人同士だっ

ときには心を閉ざしてしまうこと ものに対して心理的な距離を感じ 一方で、

私たちは自分たちと違う

や広い視野を得るきっかけになる

異文化との出会いは新たな学び

誰もが自分らしく

安心して暮らせるまち

なのは、 うに。お互いの違いを乗り越え、 地域に新たな活力をもたらし、 姿勢そのものなのかもしれません。 お互いに信頼関係を築こうとする ら」とあるように、 でしょうか。多文化共生の定義にを感じることができるのではない 互いに歩み寄り、 とにもつながります。 たち自身の暮らしを豊かにするこ らしやすさに直結するだけではなく すこと― 「対等な関係を築こうとしなが 日本人も外国人も、 こと―それは外国人にとっての暮ともに支え合いながら地域で暮ら 同じ一人の人間として親しみ 違いを認め合った上で 安心して暮らせるよ 相手を知ること 私たちに必要

番大切な 壁をつくらないこと

ど相手に分かりやすい方法で伝えていりと説明したり、イラストを付けるな かもしれません。それをお互いに尊重 にはなかなか理解できないものもある 中にはゆずれないものや、外部の人間 それは日本人も外国人も持っていて くことは大事だと思います。 きには私たちも日本のルールをしっか 努力や妥協は必要でしょう。また、と して共生するというのは、楽しさもあ するのであれば、暮らしに慣れるまで ーがありますから、長く日本で生活 難しさもあると思います。日本に 外国人にとっては特殊な文化やマ

科国際関係論専攻博士課 程修了。専門は国際関係

論。今年の4月から平成 国際大学の日本語別科長

交流を増やし、 分かり合う

年度新たに「日本語別科」を設けま 留学生が日本語を学ぶ場として、今 橋渡しを担う人材を育成するため、

平成国際大学では、

日本と世界の

した。久喜市に住む留学生も多く在

籍しています。

日本語別科長を務め

ら多文化共生の時代を迎えるにあた る増古剛久さんに、私たちがこれか

持つべき意識などを伺いました。

あまり ると言われています。それは人同士で 会・人的な交流が増えると、 のは、こころの壁をつくらないことで のは、やはりまずはあいさつ。 も同じことだと思っていて、 いい、身振り手振りでも。 多文化共生を実現する上で大切な 国レベルの話ですが、 交流のパイプを太くすることで 分からなくてもあいさつだけで ションをとることです。 一番大切な 経済・社 戦争が減 交流を増 コ /// ユ 言葉が

やさしい日本語を

使ってみよう!

日本語に不慣れな外国人 には、噛み砕いた日本語

学校はありません

ゆっくり話す、短く言う、はっきり

発音することも大切です!

で話しましょう。

(例) 休校

形無形のものだと私は思っています

人々が長い歴史を経て育んできた有

化とは何かを考えてみると、

地域の まず文

多文化共生を考える前に、

多文化共生の楽しさと難しさ

っていたら声かけを

てきます。例えば各種手売きごう:面というのはいろいろなところで出日常生活の中で、外国人が困る場 困っている場面を見たら、 自分を客観的に見つめ 地域に受け入れても 異文化 いる

互いにとって不幸ですよね。 や先入観を持ったところから始めてし になっていくものだと思います。偏見お互いに分かり合い、許し合える関係 まったら、理解し合う機会もなく、

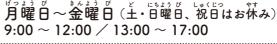
との交流は、 らえなかったら嫌ですよね。 せっかいでもいいから声をかけてあげ 直すきっかけにもなるんです と仮定したら、 てほしい。もし自分が異文化に

Foreign Residents Support Desk

市役所で、生活のこと、市の手続きのこと、相談できます



久喜市役所 3 階 市民生活課





まどぐち 窓口では 20 言語に対応!

問合せ 市民生活課首治振興係 内線 2623・2651 ☑ shiminseikatsu@city.kuki.lg.jp

※電話ではやさしい旨本語での対応となります。ごう承ください。